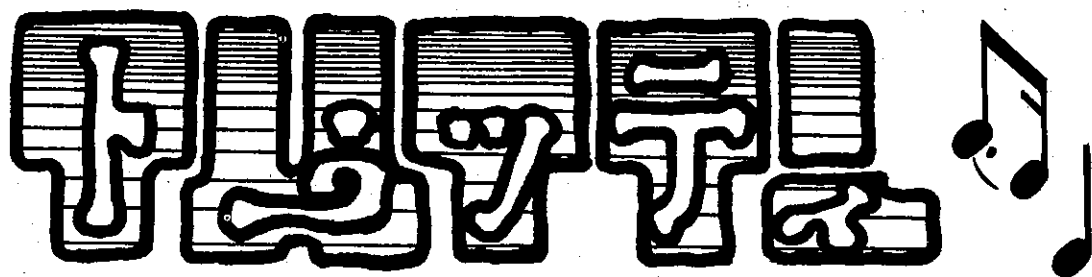


No. 1

岡山県合唱連盟 機関紙 創刊号

昭和62年7月15日

発行所 岡山県合唱連盟
機関紙編集部



岡山県合唱連盟理事長 近藤 安个

連盟機関紙 「トゥッティ」の 創刊によせて

岡山県合唱連盟理事長
近藤 安个

岡山県合唱連盟が幾多の業績を残しつつ、40周年という大きな記念すべき節目の時に、機関紙「トゥッティ」を創刊することができたのは、誠に慶ぶべきことです。現在、連盟は高校・大学・職場・一般(青少年少女を含む)お母さんの55団体、会員数1820名で組織されています。全団体による年1回の総会、各部門代表25名による理事会は、隔月に開催され、専門部会はその都度随時開かれ、連盟事業の企画運営を積極的に、しかも慎重審議しこれを実行しているのです。機関紙は、原則として年4回発行され、連盟会員全員に配

布したいと思いませんので、当然のことながら、かなりの経費をとまなうことでしょう。しかし、皆さんが大いに活用し、より充実した合唱生活を樂しむのに役立つてくださることを期待するのです。「トゥッティ」の活用方法として

- 一、全日本・中国・岡山県連の動きを知っていただき、正しい認識のもとに、会員としての誇りと自覚をもって頂きたい。
- 一、各団の活動状況を紹介し合い、互いの親睦を深めてほしい。
- 一、演奏会等の告示に役立っていただきたい。

等々、いろいろな良い方向に利用して下さい。「トゥッティ」は会員皆のものです。皆さんで協力し合い、大切に育てようではありませんか。横のつながりが、より深くなり、連盟が一層の発展と向上することを願うのです。

創立四十周年記念 〔昭和六十二年度事業〕

- 五月三十一日(日)
 - 岡山県合唱講習会
 - 於・中国短期大学
 - 講師・岩河三郎・池田明良
 - 受講者三百名
- 六月十四日(日)
 - 第四十回岡山県合唱フェスティバル
 - 於・岡山市民会館
 - 出演・三十団体
 - 創立四十周年記念祝賀会
 - 於・玉姫殿
 - 功労者表彰・在盟二十年以上者表彰他
 - 出席・三百二十名
- 七月十二日(日)
 - 第十回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会
 - 於・岡山市民文化ホール
 - 講師・日下部吉彦
 - 糸賀 英憲
 - 近藤 安个
- 出演 十八団体
- ゲスト 桃太郎少年合唱団
- 八月三十日(日)
 - 第四十回岡山県合唱コンクール
 - 於・岡山市民文化ホール
 - 審査員 糸賀 英憲
 - 吉田 泰昌
 - 近藤 安个
- 二月十一日(祝)
 - 第八回ママさんコーラスフェスティバル
 - 於・岡山市民文化ホール

〔記念事業〕

- ・創立四十周年記念祝賀会
- ・岡山県合唱連盟旗制作
- ・岡山県合唱連盟歌作製
- ・創立四十周年記念誌発行
- ・糸賀賞制定
- ・県連機関紙「トゥッティ」発刊

岡山県合唱連盟歌

歌詞募集

県連盟では、創立四十周年を記念して連盟歌を作ることになり、その歌詞を、連盟の皆様から広く募集しております。採用されました歌詞には、一流の作曲家が曲をつけ、全県下で歌い継がれてゆくことになり、どうぞふるってご応募ください。

〔内容〕
岡山県らしい特色を持ち、合唱をたたえるものであること。タイトル・形式は原則として自由であるが、長さは、二、三番程度が望ましい。

〔募集要領〕
資格―岡山県合唱連盟加盟団体に所属していれば、団員、指導者を問わずだれでもよい。

しめ切り―昭和六十二年九月三十日

審査―県合唱連盟理事会
発表―機関紙「トゥッティ」秋号にて発表

- ・採用は一編とし、賞金三万円が授与される。
 - ・採用作品は、一部補作することもある。
 - ・採用作品の著作権は、岡山県合唱連盟に帰属する。
 - ・応募作品は、自作、未発表のものに限る。ただし、ひとりでも何編応募してもよい。
 - ・応募作品は、いずれも返却しない。
- 〔注意事項〕
用紙は自由であるが、階書ではっきりと書き、漢字の読み方で、まぎらわしいものには、ふりがなをつけること。また、アルファベットは、活字体を使うこと。
- 応募用紙には、住所・氏名
電話番号・所属団体名を
明記すること。
- 〔あて先および問い合わせ〕
〒七〇三
岡山市山崎三二一八五
岡山県合唱連盟事務局
(電話)
〇八六二一七六一―三三七



四百人の熱気!!

'87岡山県合唱講習会

開かれる

倉敷コルクライネ指揮者

理事 田中 浩

五月三十一日(日)。中国短期大学で、講師に岩河三郎氏(作曲家)、池田明良氏(合唱指揮者)を迎え、'87岡山県合唱講習会(40周年記念行事)が開かれました。待望久しかった講習会ということで、開講一時間前にはもうかなりの人がホール前に集まり、三々五々、顔見知り同志でテキストをめくりながらの音楽談義が繰り広げられていました。午前十時より開講式。近藤理事長の挨拶と講師紹介のみにとどめ、すぐに講習会に入りました。

池田講座には

岡山大学コルクロータスが

多田武彦 作曲

「若しも、かの星に」を

中国短期大学フラウエンコール

が 三善 晃 作曲

「わるくちうた」「すりむ

きうた」「あきかんうた」を

倉敷コルクライネが

ガブリエル・フォーレ作曲

「おお サルタリス」を

岡山市民合唱団 鷺羽が

池辺 普一郎 作曲

「三つの不思議な仕事」I

・Ⅲを

岩河講座には
井原中学校合唱部が

岩河 三郎 作曲

「親知らず 子知らず」を

玉島少年少女合唱団が

岩河 三郎 作曲

「月と木枯し」武蔵野の子

供達」を受講しました。

池田講師は、母音のひびきの

統一性、その為の簡単な練習

法、フレイジング、呼吸法、

日本語の歌い方、ラテン語の

発音、発声法、歌う時の姿勢

など、ユーモアを交えながら

時には簡単な器具を使用した

りして、大変わかり易く指導

して下さいました。

岩河講師は、当日の受講曲が

自作ということで、作品の作

曲背景、フレイジングのとり

方、言葉の歌い方、ニュア

ス、伴奏の役割など、自作なら

ではの話などがとび出して

ました。

各々の講座の最後は、受講者

全員による全体実習があり、

池田講座には

岩河 三郎 作曲

「だいだらぼっちの春」

が歌われました。

受講者の熱気にお天気も呼応

するかのようになり、快晴、十

一時頃には水銀柱もぐんぐん

上昇し、ホールの中は大変な

暑さになりましたが、誰一人

として席を立つ人もなく、汗

をふきふき真剣にノートをと

る姿が大変印象的でした。

閉講式では各講師より講義が

ありましたが、その熱心な受講態度から、今後の岡山県の合唱の展望が予測できる。頑張り、充実した一日の快い疲労を感じながら帰途につきま

岡山県合唱連盟創立

四十周年記念

一九八七年岡山県合

唱フェスティバル開

催される!

去る六月十四日(日)岡山市民会館に於いて、連盟の恒例の行事であるフェスティバルが盛大に開催されました。

本年はこの催しも四十回を数える会となり、オーブニングは特に華やかさを一段と増す吹奏楽(倉敷グリーン・ハイモニー)の賛助も功を奏して、参加各団の趣向を凝らした粉装やら、演技にやんや、やんやの拍手、声援が送られ



ました。さて参加団体は、三十団体と例年より増して、内容も各団アイデアのたくさん盛り込まれた、衣装や、振り付けもあざやかだったり、こっけいだったり、聴くもよし、観るもよし、楽しいフェスティバルの幕を閉じました。

岡山県合唱連盟創立

四十周年記念祝賀会

開く

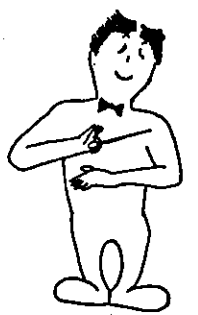
開く

開く

四十周年を祝う記念式典と祝賀パーティーはフェスティバル



ル終演後六時半から場所を岡山玉姫殿に移して、加盟員三百を超える参加を得て、盛大厳粛に式典を催し、歴代理事長、維持会員各氏に感謝状を贈り感謝の意を表し、長年(二十年以上)連盟員として活躍した団員にも表彰状を贈り、今後益々の助力、活躍をお願いした。全日本河内事務局長の参加で楽しいパーティーでした。



コーラス雑感

コール一宮代表者

鈴木悦子

たしか昭和二十七年九月十日台風の吹きすさぶ。そう二百二十日とかでどしゃぶりの日でした。岡山放送合唱団の団員募集を新聞で知り母の止める声もふり払って当時の水島からバスにのり汽車にのり電車に乗って網ノ浜のNHK岡山放送局までずぶ濡れになつて試験を受けに行ったのが正式にコーラスなるものにとりつかれた第一歩でした。当年十七才。日曜になると弘西小学校の講堂に集いコールユーンゲン、コンコーネに始まり、モーツアルトの「鎮魂ミサ曲」に取り組み、訳もわからないまま「レクイエムエトテ：ル・ム等と必死の思いで歌に明け暮れ昭和二十八年一月二十五日の定期演奏会で初舞台。感激でしたネ。総勢百何十人かの混声で力強く重々しくレクイエムを心の底から歌い、感涙にむせびながら歌い上げた。その当時は、自分達の手で街頭に立ってチケットを売り道行く人にお願いで買ってもらい、自分のノルマだけは何とかさばいたも

のです。ビラはりもみんなベタベタはっても叱られなかった頃。寒い寒い街角でチケットもあまり売れない泣きそうになりながら...でも歌い上げた時のあの感激には変えられない。それから八年放唱で歌い、その後はとにかく辛い世の中世帯のヤリクりに忙しい家庭の奥さんに、歌でも歌いませんか?と呼びかけた所、われも私もと集りママさんコーラスの始まりです。近所で人のうわさをしているよりは大きな声をだして歌を歌っている方が健全です。御指導の先生もそれは熱心な方で、十四年になりますがずっと教えていただいています。



私の四十年

文化センター合唱団

顧問 高原景介

昭和二十一年の四月、玉川学園中学部に入學したばかりの私に、塾(玉川では寄宿舎のこと)をこう呼んだ。先輩が命令口調で言った。「お前もダイクをやれ！」連れて行かれたのは礼拝堂だった。

訳の分からぬ言葉で先輩たちは歌っていた。凄まじい迫力だった。負けん気を起こして声を出したら、先輩が苦笑いしながら言った。「お前の席はあっちだ。」指差された方を見ると、お姉さまばかりがずらりと並んでいる。つまり私はまだ変声していなかったのだ。ベートーヴェンと私との、奇妙で突飛な、はじめての出会いであった。

翌二十二年、変声を終えた私は正式に玉川学園合唱団の一員になった。年末恒例の日響(現N響)の「第九」をはじめ、「エリアー」、「天地創造」、「橄欖山のキリスト」、「莊嚴ミサ」などの大曲を含む様々な曲を、恩師の岡本敏明先生をはじめ、ローゼンシュトック、クルト・ヴェス、山田耕筰、近衛秀麿、山田和男、森正、清水脩などの指揮で歌った。

私の学生生活最後の年、昭和三十年、私が部長であり学生指揮者だった合唱団に嬉しいニュースが届いた。当時高等部の音楽の先生であり、岡本先生の跡を継いで玉川学園合唱団の指揮者だった小山章三先生(現国立音楽大学教授)の作品「風に寄す」がコンクールの課題曲に当選したのだ。

戦前の合唱競演会での優勝以来コンクールには参加していなかった玉川だが、課題曲を作曲者自身の指揮で歌うという稀有の機会を逃すのは惜しかった。「勝てるか」「勝ちます」の短いやり取りで小原国芳園長の了解はとりつけた。それからが大変だった。井の中の蛙にどれほどの事が出来るものか全く自信はなかった。がむしゃらに練習して参加した関東大会、結果は早稲田大学グリークラブに次いで二位だった。「ようやくやった。」恐る恐る報告に行った私の手を握ってくれた園長の掌が温かった。

昭和三十一年から、岡山での私の合唱歴が始まる。岡山東商高、鴨方高から始まる勤務校での指導のほか、新三菱水島、倉レ岡山、岡山県庁などの職場合唱団、岡山労音合唱団、岡山メロクワイア、アーベントコール、文化センター合唱団などの一般合唱団で指揮し或いは歌って、三十年が過ぎた。

岡山県合唱連盟が結成されて四十年になると聞く。私の合唱歴もちょうど四十年、奇しき縁と言えようか。

理事会あれこれ

岡大コールロタス

戸板滋人

理事会の始まる十五分前、会議室はまっ暗である。集まっているのは学生理事だけしかいない。学生はやはりヒマなのだろうか。集まりだけはいい。しばらくすると、理事諸候が集まって来る。しかし

理事会の始まる時間になっても半分にも満たない人数である。まあ、学生とはちがって社会人、主婦の方々はいそがしいのでいたしかたないかもしれない。近藤理事長が「しばらく待って下さい。」と声をかける。十分か十五分たつて、ようやく半数を少しこえる人数が集まる。「理事会を始めましょうか。」という言葉で理事会が始まる。

始まったのはいいけれど、これがもうほとんどお通夜みたいだ。「シーン」としているのである。近藤理事長が「何かご質問、ご意見はございますか。」という言葉に對しても、「……………」何もう返答がない。「これでよろしいでしょうか。」と同意を求め

ても、一部が「パチパチ」と拍手するだけで、本当にやる気があるのか、といたい。昔はもっと活発に意見の交換が行なわれていた、と古い理事の方々はいう。

岡山県学生合唱連盟交歓演奏会について

岡大コールロタス

チーフマネージャー

柴尾 学

女子大学グリークラブ、中国短期大学フラウエンコール、就実女子大学・短期大学グリークラブ、山陽学園短期大学グリークラブ、作陽音楽大学女声合唱団、岡山理科大学クリスタルコール)合同のステージがメインの行事で、合唱フェスの一ヶ月位前から毎週土曜日に練習を行う以外はほぼ年間を通じて交流等を行う機会がなかったのである。

「岡山県学生合唱連盟交歓演奏会」というと、一般の合唱団やおかあさんコーラスの合唱の皆様方は、「はて、何のことだろうか?」と思われる方が多いと思う。実は、今年秋に、岡山県学生合唱連盟つまりOSCAでコンサートを開催しようと大学の各理事を中心として各大学とも動きはじめていたのである。今までOSCAといえば、合唱フェスティバルで近藤先生を指揮者としてお迎えしての8大学(岡山大学グリークラブ、岡山大学男声合唱団コール・ロタス、ノートルダム清心



さて、具体的なこのコンサートの宣伝をしておく、

◎日時 昭和62年10月28日

(水曜日)

◎場所 三木記念ホール
コンサートの内容としては、各大学単独のステージと合同ステージの二本立ての大きなコンサートの予定である。

昨年の動き出しが遅くなってしまい、日程や場所などいろいろ困難な問題がすでに出ているが現時点では、このまま各大学の理事を中心として頑張ってやってみようかないのである。

最近の大学合唱団は、自分の団のスケジュールに固執しすぎて、新しい行事の企画や他団との交流がおろそかになりがちである。今回、こうして同じ岡山で活動している大衆が集まって演奏会を開くことでさらに交流が広がり、演奏会に出演するメンバー全員が楽しい演奏会だったと満足できるようなものになれば、それで有意義なことであると思う。みなさん頑張りましょう。

いつもビールを飲みながら、食事をしながら楽しく行われるトウツテイの編集委員会突然渡された原稿用紙、書く内容を悩んだ末、結局OSCAコンサートのことを発表することにしました。これで本当にやるしかありません、とは言ってもほんとにどうなることやら……。



各団

行事

予定

岡山大学グリークラブサマ
コンサート
七月十八日(土)六時半開
演 岡山市民文化ホール
入場料前売四百円
当日五百円

指揮：石原 聡・高野 敦
曲目：混声合唱とピアノの
ための「花に寄せて」
混声合唱組曲「テイオ
の夜の旅」混声合唱
曲「海鳥の詩」

立命館大学メンネルコール
岡山大学男声合唱団コール
ロータス・ジョイントコンサ
ート
八月二日(日)一時半開場
二時開演
岡山市民文化ホール
入場料五百円
指揮：上月 明・坂本康晴
藤崎勝仁 他

曲目：立命館メンネルコー
ル・男声合唱組曲「木
下左太郎の詩から」
「クレーの絵本第二集」
コール・ロータス・
男声合唱組曲「若し
もかの星に」「ヴェニ
ス生誕」 合同ステ
ージ「ドイツ民謡集」
関西六大学合唱連盟の中でも
実力を誇る立命館メンネルコ
ールを岡山に迎えてのジョイ

ントコンサートです。一九六
八年以来二回目のこのコンサ
ート、男声合唱の迫力、繊細
なハーモニーをぜひ聴きにお
越しくください。
問い合わせ：柴尾 学
〒七〇〇 岡山市津島本町
四一〇 青本方
電話 五二一三七六四(呼)

◎演奏旅行・合宿
倉敷コールクライネ
八月十七日～八月二十四日
訪米親善演奏旅行・参加人員
七十名(内団員四十三名)
倉敷市姉妹都市カンザス・シ
ティにて演奏会

◎倉敷市市民合唱定期演奏会
日時 九月十九日(土)
開演十八時三十分
曲目「ドイツミサ」
シューベルト作曲
「ドイツミサ」
青島広志 編曲
「北の大地」
小野寺与吉作詞
團 伊玖磨作曲
指揮 小山裕章、三宅康一
入場料 五百円
場所 倉敷文化センター

中国短期大学フラウエンコ
ール
校内合宿・七月十九日～七
月二十五日
強化練習・八月十八日～八
月二十三日

団員募集

求む男声団員

「瀬戸内混声合唱団」
新生瀬戸内混声合唱団とし
て、四月から新しい指揮者、
指導者を迎えてスタートしま
した。合唱経験のない新メン
バーも多勢加わり、気持ちも
新たに「実力をつけて楽しく
うたおう」をモットーに練習
を重ねて、来年一月ごろには
発表会をしたいと思っていま
す。児島に根を下ろした唯一
の混声合唱団として地道に育
っていきたいと一同願って
います。九月には或る祝賀会
で演奏する予定もあり、発声
練習からしっかりがんばりた
いと、はりきっています。
問い合わせ：電話〇八六四一
七三―三一八〇 山本まさみ



トウッティ編集部では、み
なさんからの寄稿をお待ちし
ています。行事予定、演奏会
案内を始め、団員募集、メッ
セージ等、なんでもけっこう
です。ご意見ご感想、エピソ
ードも大歓迎です。字数の特
に制限はありませんので、ど
んどんお寄せください。また
演奏会やレクレーションの報
告等も、写真つきでご紹介す
ることもできます。マンガ、

イラスト類も、腕ふるって
くださることを期待します。
トウッティとは、「全員で」
という意味です。この機関紙
は、連盟のみならずのもので
情報交換や意見発表の場とし
て、おおいに活用していきま
しょう。

●トウッティは年四回発行の
予定です。次号は九月に発行
する予定です。次号分の
原稿は、八月二十日ごろまで
に、お寄せください。

送り先：〒七一〇一一
吉備郡真備町上二万五八六
野口 紀生
(〇八六六九) 八一―一九八二



春の総会前機関紙はどうな
つとる？との声が理事長はじ
め、幾人かの人から質問され
た、何とか機関紙を出した
いすなあ！と軽く受け答え
した私メでありました。その
後しばらくは音沙汰なくて機

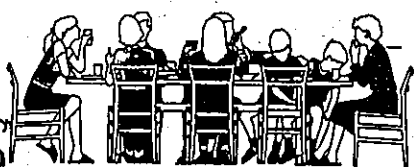
関紙はどうなったかな？と心
の隅っこの方へ行ってしまう
頃、理事会で機関紙をぜひ
との話しが出て来た、オオッ
ト！と古い機関紙発行の思い
出など頭の中で右往左往して
いる内に、編集委員だの、ま
とめ役を！と私メが担当の憂
き目と相成りました。さて編
集委員五名で取りあえず、会
合を持ったがこれという妙案
は出ず、漠然とした内容の会
合となり、何はともあれ名称
内容をどんな形で決めようか
な？と無い知恵をしぼってみ
よう、と各委員にお願いして
散会する、そして次のミーテ
ィングでタイトル案は二十数件
の内三件(トウッティ等)その
他内容は、各団員への連盟方
針、理事会等の報告。各団の
行事予定等、連盟員の公報、
互いの親睦を深める為のペ
ージ(例えば詩、俳句等)を開
放しようとの考えでまとまり
確か5月の理事会でタイトル
はトウッティ、内容はおまか
せの前記通りで決定しました
それからの編集委員は、理事
長他への原稿依頼等、数回某
所へ集まりミーティングの他
不足の原稿分の記事は作るし
コマーションは取りに走るで
大変な仕事でした。しかし、
理事長を始め原稿を快よくお
寄せいただいた方々のおかげ
で何とか創刊号発刊に持ち
込みました。ありがとうございました。

野口 紀生

新・くらし文化を創造する

National
PanaHome

健康だから、
ふれあいが元気になる



あなただけの敷地

健康・ふれあい 27w4E給湯2300円

親宮パナホーム住宅株式会社 本社 〒700 岡山市伊福町4丁目4-3
☎ (0862) 53-5666

讃州うどんの庄

かな泉

倉敷店

(住所) 倉敷市本町
8-33
(TEL) 21-7254

最高級

風味しようゆ

兵庫県倉敷市野野町上川原81
カネキ醤油株式会社
Tel 〇七九一六二一〇〇二二代
倉敷地区問合せ先
倉敷駅前佐野屋支店
Tel 〇八六四一三二一〇九三〇代